

分子生物学科セミナー

日本列島の 現代人と古代人の ゲノムDNA解析

さいとうなるや
斎藤 成也

国立遺伝学研究所 集団遺伝研究部門
総合研究大学院大学 生命科学研究科 遺伝学専攻

南北に長い日本列島には、北からアイヌ人、ヤマト人、オキナワ人という3種類の人類集団が居住しています。わたしたちは核ゲノム全体に散在している数十万のSNP座位における対立遺伝子情報をもちいて、これら3集団からサンプルした各個体間および世界の他地域の人間の遺伝的近縁関係を推定しました。アイヌ人とヤマト人については、これら2集団が混血を始めた時期を西暦6世紀と推定し、また集団間で特に大きな対立遺伝子頻度の差があるゲノム領域のなかに、形態的表現型に関与する遺伝子が含まれていることをみいだしました。一方、現代日本列島人にゲノムが引き継がれたと考えられている縄文時代人の核ゲノム塩基配列の一部をはじめて決定し、縄文人が東ユーラシアの中できわめて特異な系統に位置づけられることを発見しました。これらの研究から日本列島人の起源と成立について議論します。

日時：12月17日（水）16:20～17:50
場所：11番教室（理学部3号館2階）

学部集中講義「ゲノムから見た生物進化」(R14265「分子生物学特別講義IV」)の最後の部分をセミナーとして公開していただきます。講義の一部ですから、集中講義を履修する学部学生は必ず聴講することになります。埼玉大学ではなかなか聞く機会のないような内容ですから、集中講義を履修しない学部学生・大学院生や教員の皆さんも、ぜひ参加してください。

このセミナーに関する質問などは、世話人 原 弘志 (理学部3号館5階3507号室
内線 4307 外線 048-858-3775
E-mail hhara@mail.saitama-u.ac.jp) まで